

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 4 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	泊村再生可能エネルギー活用型水産養殖事業化調査業務	
補助事業者名	北海道泊村	
補助事業の概要	<p>泊村の「地場産業の振興」や「新たな産業・雇用の創出」、「人口流出に歯止めをかける」等の既存の施策に貢献する再生可能エネルギープロジェクトを具体化する事を目的とし、茂岩地区における温泉熱活用型水産養殖事業を実現するための調査及び設計を実施した。</p>	
総事業費	98,032,730円	
補助金充当額	98,032,730円	
定量的目標	<p>○エネルギー構造高度化の理解促進に向けた見学会・勉強会（地域内外）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証事業構築後、年3回実施 <p>○エネルギー構造高度化の理解促進に向けた住民説明の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間中及び期間後において3回程度実施 	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<p>これまでの依存型のエネルギー構造からの脱却、エネルギー構造の高度化と地場産業の振興を実現するため、泊村の優位性を最大限活かしながら、立地自治体自らが、先進的で新たな取組みを提案・実践・発信する事で、地域循環共生圏の構築と、持続可能な地場産業の振興に貢献する取組の方向性を明らかにした。</p> <p>○重点的に実施した事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉熱活用型水産養殖事業化調査 <p>茂岩5号井の温泉を活用することで、全ての必要エネルギーを温泉熱で賄うことが可能な年間7.5トン程度の生産能力を有する養殖システムを実現できる見通しを得た。</p>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	泊村再生可能エネルギー活用型水産養殖事業化調査業務
	契約の方法	随意契約（公募型プロポーザル方式）
	契約の相手方（間接補助先）	北電総合設計株式会社 代表取締役社長 古谷 恵一
	契約金額（間接補助金額）	96,580,000円
来年度以降の事業見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉熱活用型水産養殖システム実施設計 （令和6年度から実施する実証試験のための建屋やエネルギーシステムの実施設計を行う。） ・バナメイエビ小規模飼育試験 	

	<p>(バナマイエビの飼育に適した飼育水を調整できるかを事前に確認するために、小規模飼育試験を行う。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地下海水取得に向けた調査 (地下海水の入手可能性を調査するために、表面波探査による地質調査を実施する。) ・ バナマイエビの商品企画、販売戦略、ブランディング検討 (ターゲットとなるエリアやニーズを明らかにするために、専門的な観点で深掘り検討を実施する。) ・ 養殖技術習得研修 (小規模飼育試験に向け、業務を担当する役場職員に、養殖システムの機能や養殖に係る作業の実体験、育成時の品質管理技術を習得させる。)
--	---

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。